

工業試験場は、「中小企業の試験室・実験室」を基本コンセプトに、「相談・指導」「試験・分析」「研究開発」を事業の三つの柱として、機械金属、電子情報、繊維生活、化学食品、九谷焼の各部門で既存産業の高度化に努める一方、プロジェクト室を設け、炭素繊維や再生可能エネルギーなど次世代型産業の育成を支援しています。

平成27年4月には、3Dモノづくりラボをフル稼働し、金属、樹脂、石膏の3種の3Dプリンタを開放機器としてご利用いただき、設計から試作、製造までの一貫したもののづくり支援の強化を図っています。

また平成27年3～7月には、2年に一度の業界ニーズ調査で県内企業約360社を訪問させていただき、IoT、炭素繊維、発酵・機能性食品への取り組みなど研究や設備導入に向けた貴重なご意見を賜りましたが、今後の活動にきめ細かく反映させていきたいと思っています。

平成28年度の事業の概要

●技術振興

外部専門家による技術振興委員会（1回）、研究外部評価委員会（専門分野毎に計4回）を開催し、工業試験場の研究や主要事業についての意見・評価をいただきながら、各種事業に反映させています。

●技術普及

- ・機関紙（年4回発行）やホームページによる情報提供を充実させています。
- ・ビジネス創造フェア（主催：（公財）石川県産業創出支援機構）への出展や技術交流会を開催し、研究・指導成果の普及に努めています。
- ・業界団体の研修会や大学の講座に講師を派遣し、技術の普及に努めています。
- ・開かれた工業試験場を目指し、団体等による見学を積極的に受け入れています。

相談・指導 企業の技術的課題に関する相談を受け、解決に向けた指導を行います。

●一般的な技術指導

さまざまな技術課題に対して、場内での面談、電話やEメールなどで指導を行います。

●中長期的な技術指導

企業の個別の技術課題を解決するための「研究員等派遣指導」、工業試験場が企業に技術移転した成果を支援する「フォローアップ推進指導」を行います。

●現地における技術指導

企業からの要望があれば「簡易技術指導」で迅速に訪問指導を行います。「拠点技術指導」「巡回技術指導」では、定期的に産地や企業を訪問し、生産現場でのきめ細かな技術指導に努めています。

●人材養成

- ・モノづくり技術高度化開発指導事業
開放機器の操作技術の習得、開発担当者や学生の研究受け入れを行っています。
- ・石川県次世代産業育成講座（主催：（公財）石川県産業創出支援機構）
次世代の技術開発や新製品開発のための座学による研修と、開放機器利用のための実習を行います。

●研究会

3Dプリンタ研究会、EMC研究会石川などの研究会を開催し、企業の技術の高度化支援に努めています。



試験・分析 工業試験場では、様々な試験計測機器等を活用し、依頼試験・開放試験を行っています。

●依頼試験

企業が持ち込んだ「材料や製品」を工業試験場職員が分析・試験・測定し、成績書を発行します。

●開放試験

企業の皆様が機械（開放機器）を操作し、分析や測定を行うことができます。
※事前に、操作技術について「モノづくり高度化コース」の講習を受けていただくことがあります。

●3Dモノづくりラボ

金属、樹脂、石膏の3種の3Dプリンタを開放機器としてご利用いただき、設計から試作、製造までの一貫したもののづくり支援を行っています。

